

照陽の家だより

令和元年12月13日

〒683-0812

米子市角盤町3-124-3

TEL 0859-21-8151

令和元年は5月施行のため今年はずいぶん早く年の瀬になったように感じます。新天皇の即位もあり華やかで喜びに満ちた年もいよいよ残すところ半月となりました。今回はひなたぼっこ保育園より日頃の様子をお知らせし年の瀬のご挨拶とさせていただきます。ひなたぼっこ保育園は米子市地域型小規模保育として1歳児、2歳児までのお子様を対象にしている保育園です。4月入園当初はまだまだ不安そうな表情の子ども達も沢山の経験を通して本当に大きく逞しく成長しました。振り返れば、**春**：環境が変わり不安になったり緊張したり・・・でもすぐにお友達と遊ぶ楽しさを知り登園が楽しみにになりました。**夏**：プール遊び大好き！！毎日プールで真っ黒に・・・そして強い身体になりました。**秋**：秋には沢山の行事がありました。ハロウィン・遠足・いも掘り・・・命の大切さや実りの不思議を知りました。体験する事で子ども同士の話や関わりも増え友達と過ごすことの楽しさを感じる事が出来ました。さて、今年の締めくくりはクリスマス会。みんなに見て頂ける喜びを経験しました。子どもたちは鳥取ふれあい共生ホーム照陽の家の大きな屋根の下で様々な人の姿に触れ、刺激を受け、喜怒哀楽を自由に表現出来、そして周りの人々から丸ごと受け入れられ「生きる力」を身につけて来たのではないかと思います。保護者の皆様には沢山の協力やご支援を頂き本当に有難うございました。来年も保育士一同、子ども達の笑顔のために全力を挙げて頑張ります。どうか続いて宜しくお願い致します。インフルエンザも心配されるこの頃ですが皆様、良いお年をお迎え下さい。

保育士一同

ひなたぼっこ保育園の日常



照陽の家の日常



クリスマスの飾りつけ作り



風船バレー



和菓子屋さん



こどもたちと触れ合い

訪問看護ステーション ハートケア

「第3回いきいきサロン 地域が繋ぐグループワーク」 作業療法士 岡野元明

大山の頭が白くなり、秋の変わり目と共に寒さを感じる季節となりました。そんな中、トミさんの家では11月7日に第3回いきいきサロンを開催しております。今回は地域が繋ぐグループワーク～みなさんが考えるいきいきライフとは～というテーマで約20名の地域住民の方々と意見を出し合っています。みなさんウォーキングやボランティア、自宅内でのコーラス、ピアノ、読書など生活の中で多数の趣味や生きがいを持っておられました。一番多く出た意見は友人と会うこと、若い人と話することなど社会的参加に重きを置かれる方が多い印象でした。しかしその反面、独居で高齢になり人としゃべる機会が少なくなったという意見や遠出が難しく電話が多くなったという意見も多数ありました。町内の高齢化率が高く近所付き合いを大事にしているという意見もあり地域の現状を知る良い機会となりました。今後トミさんの家でのいきいきサロンを通して定期的に顔を合わせ地域で生活を支えられる一つの集まりになればと感じております。

今月の言葉

正しいこともあれば まちがうこともあります。
私たちは神ではないのです。

～ホセ・ムヒカ～